

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		のぞみ	公表日 令和8年1月31日			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		当日の活動に応じて環境を整えておくようにし、広いスペースをキープできるよう配慮している。	スペースの広い事業所に引っ越しを考えています。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		利用人数、状況を把握し人数の配置を行っている。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		その都度利用者が生活しやすい環境を想定し、準備している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		サービス終了時には使用したものの消毒、掃除を行っている。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		必要な際は利用できるよう表示を行っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		計画に沿っての会議を行い、利用者一人一人に合った支援ができるよう努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		保護者からの意見、要望を共有し会議を行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		気づいたこと取り入れる内容等自由に発言できる環境を設け、共有をしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	50%		外部評価は取り入れていないため、今後検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		全体での研修を月に1度行っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		今年度プログラムの見直し、公表を行った。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		普段のモニタリングや子どもの話を記録し、保護者との面談を行っている。それに基づいて計画書の作成を進めている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		職員会議での話し合いを基にして職員間の意見や考えを取り入れながら、計画作成を行い共有する。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		共有された計画に沿っての支援ができるか等月に一度会議を行い見直ししている。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		ガイドラインに沿って子どもの状況、家庭の様子を考慮しながら支援を行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		定期的に会議を行い見直しを行っている。	会議での意見を取り入れながら支援内容を全体で話し合っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		プログラム内容についても全体の意見を取り入れながら常に必要な活動を行えるように話し合っている。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		個別活動は個々の時間を有効に使いながら行い、集団活動では日頃の生活の中で必要な内容を組み込んで行うようにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		事前の打ち合わせを小まめにしながら、子どもの状態に応じて進めることができるようしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		気になる点や振り返りは職員間のLINE上で報告している（個人名は出さない）	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		毎日の記録をすることで次の支援につなげるようしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		日々の記録モニタリングの結果により会議を行い具体的な支援変更内容を話し合っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%			

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%			
	27	地域の保健・医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉・保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	80%		連絡の取り方を決め、必要に応じて電話や対面で情報を交換し子どもの様子を把握する。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	80%			協力機関や通っている学校、幼稚園との連絡を取り、進学先との連絡交換ができるように準備を行うようにしている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	80%			入学後に担任の先生との連絡を取り、支援内容を伝え、家庭と連携をとれるように進める。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バイスや助言や研修を受ける機会を設けているか。	60%			研修会への参加を積極的に行っていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		100%		保護者からの意見も取り入れて、交流の活動は行っておりません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		100%		協議会、研修の参加は職員の配置上参加ができないにいますが今後検討いたします。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%			
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最高の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	80%		保護者同士が年に2回ほど情報交換や顔を合わせる機会をつくり、事業所内の様子を含めて見学をしてもらえるようにしている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			個人情報の管理は責任も行っています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			保護者との連絡は連絡アプリ、緊急の際は公式Lineを活用し、送迎時にもその日の話をしています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		100%		地域交流はなく、今後は他事業所との交流から始めることがあります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%			様々な非常時に対してのマニュアルを策定しております。その都度保護者の方にはご報告しています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%			契約時に服薬については確認を行い、専門機関にかかわった際には確認をしています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			車両、見守り等事故につながる内容にかかわる研修、訓練等は会議を安全経過に基づいて行っています。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%			会議にて連絡、報告を行い共有している。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%			保護者へ契約時に身体拘束についての説明を行なうようにしています。職員間では研修も含めて話し合いを行っています。